

2022年4月19日
仙台国際空港株式会社

仙台空港 感染症対策に関する新たな取り組みについて

仙台国際空港株式会社（所在地：宮城県名取市、代表取締役：鳥羽明門）は、皆さまに安心して空港をご利用いただけるよう、空港内における感染症対策の強化を目的に新たな設備の導入等を行いました。

今後も、仙台空港では関係各所と連携し、お客さまおよび従業員の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルスの感染防止に努めてまいります。ご利用のお客さまにおかれましては、引き続き感染拡大防止にご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

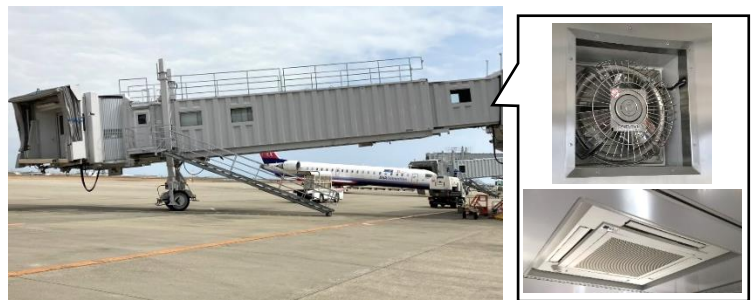
※本取り組みに際しては、東北医科薬科大学 賀来満夫特任教授からご助言をいただきました。

■ 国内・国際線保安検査場への 紫外線空気殺菌器の設置



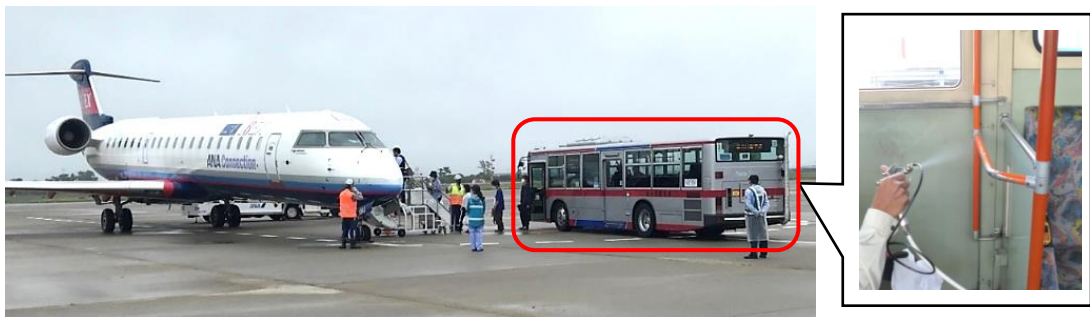
航空機ご搭乗の方が並ばれる保安検査場に、紫外線空気殺菌器を設置しました。

■ 搭乗橋への空調・換気設備の設置



搭乗橋の換気能力を向上させました。

■ ランプバス車内の抗ウイルスコーティング実施



航空機への搭乗の際、お客さまが利用されるランプバスに抗ウイルスコーティングを行いました。

■ 清掃ロボットの導入



清掃・消毒頻度の向上を図りました。

■ 非接触自動チェックイン機の導入 (国際線)



非接触で搭乗手続きが可能な機器を導入しました。

■ 国内線搭乗待合スペースの一部拡張



搭乗待合室のスペースを広げました。併せて紫外線空気殺菌器も設置しました。